

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	このこのアート太秦		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 21日		～ 2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2024年 12月 22日		～ 2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフの年齢層が高いところは、小さなことにも気がつきやすく若いスタッフ目線ならではのところは、利用者さんの目線で感じ取れるものを共有しながら支援につなげていける。	普段からのスタッフ同士のコミュニケーションを大事にしている。	それぞれのスタッフの興味のあることや得意なことを利用者様にも伝えて一緒に取り組むことで年代を超え充実した時間が作れるようにしていきたい。そういうことで利用者さんとスタッフの自己肯定感も上げていく。
2	柔軟な対応ができています。	情報収集を心掛け小さな気づきにも早く気が付くようにしている。	個々のスタッフが利用者さんの困りごとがどのようなものでどうしてほしいと思っているのかを救い取れるように力をつけていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの力量の差が大きいこと。	スタッフの知識、経験の差は否めないが、新人スタッフだからこそその目線も受け止め支援につなげていきたい。	施設内研修や実習の時間を設定し知識量を増やし実践していきたい。
2	カリキュラムが単調になりやすい。	スタッフ間でゆっくり話し合いができていない	数か月前から施行錯誤を重ねてよりよいものを作れるように話し合いの場を増やしていく。
3	保護者様に理解が及んでいない部分が明白になった(理解していただけていると思っていたことが不十分だった)。	発信する方法を増やしていくべきだと感じた。	特定のスタッフに片寄るのではなく保護者様の求められているものを感じ取り、聞き取り情報を共有して最善を尽くして理解していただけるようにしていく。